

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
1	寒川農作業管理休養施設 (女体の家)	寒川支所	D	廃止	老朽化が激しく早急に廃止すべき。 利用者は地元住民に限られている。	D	D	D	D
2	大川コミュニティセンター	生活環境課	D	移管又は売却	シルバー人材センター及び森林組合以外の利用者は限られており、これらの団体への移管又は売却が望ましい。	D	D	C	C
3	大川保健センター	国保・健康課	D	廃止	健康相談や予防接種時に利用されているが、近隣の大川公民館等で代替することも可能。 保健センターとしては廃止し、他用途での有効利用を図るべきである。	C	C	C	C
4	さぬき市田園交流センター	土地改良課	D	指定管理者導入	設置目的が明確でなく、利用者も少ないことから必要性・有効性が認められない。 日盛の里と一体的に指定管理者への移管を検討すべきである。	D	D	C	C
5	多和農村公園	土地改良課	D	廃止	トイレがあり、歩きへんろの利用があると思われるが利用者は少ない。 公民館や保育所等周辺施設を有効利用することで、公園自体は廃止の方向で検討すべき。	D	D	C	C
6	産業資料館	商工観光課	D	廃止	資料館としての役割を果たしておらず、必要性が認められない。 賃貸している大川広域行政組合との協議が必要となるが、廃止して建物や土地を有効利用すべき。	D	D	C	D
7	鴨部集会所	人権教育課	D	移管又は廃止	地域住民の利用もほとんどなく、社会教育施設としても地域の集会施設としても機能していない。 地元への移管又は廃止を検討すべき。	D	D	C	C
8	津田働く婦人の家	生涯学習課	D	廃止	隣接する公民館の補助的施設であり、利用状況からすれば必要性は低い。 老朽化やアスベストの問題もあり、廃止の方向で検討すべき。	C	B	C	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
9	勤労青少年ホーム	生涯学習課	D	廃止	志度東中学校に隣接しているが、中学校体育館は別にあり、体育館としての必要性は認められない。また、老朽化しており修繕が必要。 放課後児童クラブが利用しているが代替施設を検討し、施設自体は廃止すべき。	D	C	C	C
10	志度公民館	生涯学習課	D	廃止	20年度から休館が決まっている。 跡地利用について検討が必要。	C	D	D	D
11	志度公民館鴨部分館	生涯学習課	D	廃止	利用者が限られている上に、鴨部ふれあいプラザができたことで必要性は低くなってきている。 廃止すべき。	C	C	C	C
12	石田運動広場	生涯学習課	D	廃止	利用者も限られており、廃止すべき。	C	C	C	C
13	神前運動広場	生涯学習課	D	廃止	利用者も限られており、廃止すべき。	C	C	C	C
14	伊勢運動広場	生涯学習課	D	廃止	利用者も限られており、廃止すべき。	D	C	C	C
15	生涯スポーツ広場	生涯学習課	D	廃止	利用者も少なく、必要性は低い。 地元に移管するか、または廃止も検討すべき。	D	D	C	C
16	B&G海洋センター艇庫	生涯学習課	D	廃止	艇庫としての必要性はない。 倉庫として、あるいは跡地の売却を検討すべき。	D	D	C	D
17	前山キャンプ場	生涯学習課	D	廃止	担当課において廃止の方向で検討中 市内に類似施設があり必要性が低い。	D	D	C	C
18	青少年旅行村	生涯学習課	D	廃止	担当課において廃止の方向で検討中 利用者も少なく、早期廃止すべき。	D	D	C	C
19	郷土館	生涯学習課	D	廃止	一般公開をほとんど行っておらず、所蔵物の倉庫でしかない。 土地の借上経費も発生していることから、代替施設を検討し、早期に廃止すべき。	D	D	D	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
20	雨滝自然科学館	生涯学習課	D	利用促進	これまでのところ有効に活用されていない。 新しい施設でもあり、積極的に利用促進を図っていかねばならない。 また、利用料についても検討する必要がある。	C	D	C	C
21	大川農村環境改善センター	大川支所	C	施設利用のあり方について抜本的に検討	1階を水道局が使用しており、一般市民が利用できるのが実質的に2階大ホールのみとなっている。そのため、利用者(団体)が限定されており、比較的新しい施設にもかかわらず集会施設としての機能が十分に発揮されていない。 水道局のあり方も含めて、今後の施設利用のあり方を検討する必要がある。	C	C	B	C
22	高齢者生きがい発揮促進施設(椿の庄さんがわ)	寒川支所	C	利用促進	管理経費自体はそれほど大きくないが、利用者が限られている現状ではコスト負担の面で公平性を欠く。 利用料金を見直した上で、利用促進を図る必要がある。	B	C	B	C
23	教育のもり施設	長尾支所	C	利用促進又は廃止	新しい施設であるが、施設の必要性は低い。 利用者は少なく、設置目的(施設背後にある「県森林見本林」の活用)が達成されているとはいえない。 早急に利用促進策を講じる必要があるが、それが難しいのであれば、施設のあり方について廃止も含めて抜本的に見直さなければならない。	D	D	C	C
24	辛立文化センター分館	人権推進課	C	移管	新館が完成したこともあり必要性は低い。地元自治会又は支会に移管する方向で検討すべき。	D	C	C	C
25	北原ふれあい会館	福祉総務課	C	移管又は廃止	集会施設としての必要性は低く、利用者(団体)も限られている一方で、料金規程がなくコスト負担の面で公平性を欠く。 同一建物内にある「きんりん園」及び社会福祉協議会との協議が必要となるが、移管又は取壊しの上、土地売却等を検討すべきである。	C	D	C	C
26	鴨庄ふれあいプラザ	長寿障害福祉課	C	移管	生涯学習館が近くにあることから、本施設の必要性は小さい。 地元の集会施設として利用されており、鴨庄支会への移管を検討すべき。 また、料金規程を見直す必要がある。	C	B	C	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
27	志度保健センター	国保・健康課	C	利用促進	近くに代替機能を持った施設がなく、志度地区の保健事業に利用されている他、各種団体の会合等にも利用されている。現状で必要性・有効性は高いが、利用料金を見直す余地がある。	B	B	C	C
28	長尾保健センター	国保・健康課	C	廃止	隣接して長尾公民館もあり、代替も可能。利用者も少なく、他の用途での利用を検討すべきである。	C	B	C	C
29	鴨庄漁村センター	農林水産課	C	移管又は廃止	近くに研修センターがあり、集会施設としての必要性は低い。利用者である漁協への移管又は廃止を検討すべきである。	C	C	C	C
30	小田漁村センター	農林水産課	C	移管又は廃止	漁協関係者を含めて地元住民が利用している。しかし、小田ふれあいプラザが完成したことから、今後も市が主体となって施設を存続させる必要性は低い。漁協、地元への移管又は廃止を検討すべきである。	C	C	C	C
31	鵜部展望ふれあい公園	農林水産課	C	現状維持		C	C	C	B
32	研修センター	商工観光課	C	移管	地元自治会の集会所としての性格が強く、利用者は限られている。使用料収入もなくコスト負担の面で公平性を欠く。自治会へ移管するのが望ましい。	C	C	C	D
33	みろく自然公園	商工観光課	C	施設のあり方について抜本的に検討	体育施設やキャンプ施設、遊具等、様々な施設がありすぎて公園としての特徴がない。加えて、老朽化している施設が多く使い勝手が悪い。 市内類似施設の状況を見て、今後どのような公園として存続させていくか、コンセプトの議論が早急に必要。 その上で必要のない施設は廃止し、必要なところに財源を集中してリニューアルすべき。 また、現在、温泉施設のみに指定管理者が導入されているが、歴史民族資料館や恵利家住宅なども含めて公園全体に指定管理者を導入するなど、管理形態や利用料を検討し、経費削減につなげていくことが必要。	B	C	C	B
34	雨滝森林浴公園	都市計画課	C	現状維持		C	C	B	B

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
35	辛立集会所	人権教育課	C	移管	辛立文化センター分館とつながっており、分館と併せて検討する必要がある。	C	C	C	C
36	公文明集会所	人権教育課	C	現状維持	利用状況は悪いが、同和対策の一環としての施設であり、耐用年数経過までは現状維持すべき。	C	C	C	C
37	津田多目的研修集会施設	生涯学習課	C	移管	鶴羽地区の公民館・体育館の施設として他に類似施設はない。しかし、今後の管理運営については利用人数等も見ながら、地元への移管も検討する余地がある。	B	B	B	C
38	志度働く婦人の家	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	志度地区の公民館的施設としてニーズは高いが、老朽化が進み大規模な修繕が多い。管理方法、利用条件、料金等の見直しが必要。	B	B	B	C
39	津田公民館北山分館	生涯学習課	C	移管又は廃止	他に類似施設はないが、地域人口自体が少ないため利用者は限られている。廃止又は地元への移管を検討すべき。	C	B	D	C
40	津田北山体育館	生涯学習課	C			C	C	C	
41	大川公民館	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	大川地区の社会教育の拠点として位置づけられているが、利用者数に対して施設規模が大きすぎる。支所、農村環境改善センター、保健センター等周辺施設の機能を集約するなどして、有効利用を図るべきである。	B	B	C	C
42	志度公民館末分館	生涯学習課	C	移管又は廃止	利用者は末地区の住民にほぼ限られる。末分校、幼稚園、生涯スポーツ広場の動向も見つつ、地域への移管又は廃止を検討すべきである。	C	C	B	C
43	寒川公民館	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	寒川地区の社会教育の拠点であるが、老朽化が進んでいる。隣接する農村環境改善センターに公民館の事務所があり、今後、支所や改善センターのあり方と併せて統廃合も検討する余地がある。	B	C	C	C
44	長尾公民館造田分館	生涯学習課	C	移管又は廃止	地元婦人会等が利用しているものの、造田ふれあいプラザが完成し、必要性は低くなってきている。出張所があるが、将来的には地元への移管又は廃止の方向で検討する必要がある。	C	C	B	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
45	長尾公民館多和分館	生涯学習課	C	移管又は廃止	地域の集会施設として利用されているが、利用者は少ない。多和小学校など周辺施設のあり方と併せて考える必要があるが、地元への移管又は廃止が望ましい。	B	C	B	C
46	長尾公民館前山分館(前山多目的研修センター)	生涯学習課	C	移管又は指定管理者導入	近隣に類似施設はないが、利用者は限られている。地元への移管、あるいは道の駅及び前山活性化センターと併せて指定管理者を導入するのが望ましい。	B	C	B	C
47	長尾公民館昭和分館(昭和 多目的研修センター)	生涯学習課	C	移管又は廃止	地元の集会施設としての性格が強く、社会教育施設としての必要性は低い。 地元への移管又は廃止を検討すべき。	C	C	C	C
48	津田総合公園	生涯学習課	C	一部廃止	利用者は多いがテニスコート等、他地区に同様のものがある施設もあり、施設の整理を行う余地がある。 また、利用料の見直しが必要。	C	C	C	B
49	野間田運動広場	生涯学習課	C	現状維持	スポーツ少年団の利用が大半であり、グラウンドの草抜き等維持管理にも協力している。 今後他の利用者の増加を図るのであれば、調整が必要。	B	B	B	C
50	寒川体育館	生涯学習課	C	学校へ移管	一般市民の利用もあるが、主に石田小学校の体育館として利用されており、学校に移管した方がより効率的に管理運営できると思われる。	B	B	C	C
51	大川体育館	生涯学習課	C	現状維持	地区内に同規模の類似施設がなく、地域住民の体育館として必要性は高い。 利用料金を見直す必要がある。	B	B	C	C
52	神前体育館	生涯学習課	C	現状維持	地域住民の体育館として利用されているが、利用者は多くない。 廃止についても検討する余地があるが、将来的に石田小学校と併せて寒川体育館が廃止されるのであれば、必要性は増してくる可能性もある。 利用料金を見直す必要がある。	B	C	C	C
53	津田柔剣道場	生涯学習課	C	学校へ移管	実質的に津田中学校の施設であり、学校に移管すべき。	B	B	C	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
54	大川武道館	生涯学習課	C	学校へ移管	主に学校で利用されており、学校に移管したほうが効率的に管理運営できると思われる。	B	C	C	C
55	津田水泳プール	生涯学習課	C	学校へ移管	実質的に津田中学校の施設であり、学校に移管すべき。	C	C	C	C
56	志度プール	生涯学習課	C	学校へ移管	一般開放もしているが、主に志度中学校のプールとして利用されている。 学校に移管した方がより効率的に管理運営できると思われる。	B	B	C	C
57	志度東プール	生涯学習課	C	学校へ移管	実質的に志度東中学校の施設であり、学校に移管すべき。	B	C	C	C
58	小田プール	生涯学習課	C	学校へ移管	小田小学校に移管すべき。	C	C	C	C
59	屋内ゲートボール場(すばくさんがわ)	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	定期使用する団体はあるが、利用者数は多くない。 より一層の利用促進を図っていかねばならないが、そのためにはゲートボール及びテニス以外にも利用できるようにしてリニューアルすることも検討の余地がある。	C	B	C	C
60	歴史民俗資料館	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	これまでの経緯から、展示資料は大川地区を中心としたものになっている。 今後一層利用促進を図っていかねばならないが、市の資料館としてのあり方を検討する必要がある。 また、管理形態については、みろく自然公園内の施設のひとつとして、公園と一体的に指定管理者を導入することも検討すべきである。	B	C	C	B
61	門入工房	生涯学習課	C	利用促進	市内に類似施設(陶芸設備)がなく特長のある施設であるが、利用者が少ない。 PRを行い、利用促進の必要がある。	C	C	C	C
62	みろく通池農村公園	生涯学習課	C	施設のあり方について抜本的に検討	発生する経費は多くないが、必要性も低い。 今後、富田茶臼山古墳を市の観光資源として活用していくのであれば、そのために利用する(駐車場等)も含めて、公園のあり方を見直す余地がある。	C	C	B	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
63	みろくふれあい農園	大川支所	B	今後の運営継続について検討	常にほぼ全区画が利用されており、また、市外からの利用者も多く、利用状況は良い。市のPRという目的もある程度達成されている。 しかし、必ずしも市の施設として設置・運営する必要性はなく、今後の運営継続については検討の余地がある。	C	B	B	B
64	寒川農村環境改善センター	寒川支所	B	現状維持	広く市民に利用されているが、隣接する公民館の事務所がある。 また、利用料のほとんどが減免されており、コスト負担の面で公平性を欠く。	B	B	B	C
65	志度コミュニティセンター	生活環境課	B	指定管理者導入又は売却	利用状況・管理状況はおおむね適切であるが、指定管理者の導入又は売却を検討すべきである。	B	B	A	A
66	さぬき市墓地	生活環境課	B	現状維持		A	B	C	B
67	辛立文化センター	人権推進課	B	利用促進	人権・同和対策の拠点として利用促進していかなければならない。	C	B	C	B
68	小田ふれあいプラザ	長寿障害福祉課	B	移管	近隣に同規模の類似施設はないが、利用者(団体)は限られている。小田支会への移管が望ましい。 また、料金規程を見直す必要がある。	B	B	C	C
69	鴨部ふれあいプラザ	長寿障害福祉課	B	利用促進	老朽化した鴨部公民館の代替施設として今後必要性が高まってくると考えられる。 料金規程を見直した上で、利用促進に努めていかなければならない。	B	C	C	C
70	造田ふれあいプラザ	長寿障害福祉課	B	利用促進	長尾公民館造田分館の代替施設として利用促進を図っていくべきである。 また、料金規程を見直す必要がある。	C	B	C	C
71	寒川ふれあいプラザ	長寿障害福祉課	B	利用促進	類似施設として近くに寒川農村環境改善センターや寒川公民館がある。現在は主に地元の集会所として利用されているが、料金規程を見直した上で、より利用促進を図っていかなければならない。	C	B	C	C



資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
72	津田保健センター	国保・健康課	B	現状維持	保健事業の拠点として位置づけられており、引き続き効率的な管理に努めていかなければならない。 また、利用料を見直す余地がある。	A	B	B	B
73	志度構造改善センター	農林水産課	B	現状維持	志度地区の体育館的施設として他に類似施設がない。 利用料金を検討した上で継続すべきである。	B	B	C	C
74	おへんろ交流サロン(前山活性化センター)	土地改良課	B	指定管理者導入	へんろ資料館として館長を置いている上に、施設管理を別途委託しており、効率性に問題がある。 道の駅、長尾公民館前山分館と併せて、指定管理者導入を検討していくべきである。	B	B	C	B
75	志度南交流センター	商工観光課	B	現状維持	体育施設もあり利用者は多い。近隣に同規模の類似施設もないことからニーズは高い。 なお一層の利用促進に努めなければならない。	B	C	B	C
76	道の駅みろく	商工観光課	B	現状維持		B	B	B	A
77	さぬき市野外音楽広場(テアトロン)	商工観光課	B	指定管理者導入	特色ある施設として市のPRにもつながっているが、大きなイベントが開かれる機会は少ない。 指定管理者導入も検討しつつ、さらに有効活用を図っていく必要がある。	B	B	B	B
78	シーサイドコリドール	商工観光課	B	指定管理者導入	市民のレクリエーションの場として機能するとともに、市外からの利用が増えることにより市のPRにもつながっている。 より宣伝に努めるとともに、指定管理者の導入も検討すべきである。	B	B	B	B
79	生涯学習館	生涯学習課	B	現状維持	鴨庄地域の生涯学習の拠点であり利用者も多い。 利用料金の見直しが必要。	B	B	B	B
80	さぬき市公民館(津田公民館)	生涯学習課	B	現状維持	利用者数は多い。 利用料金を見直す必要がある(他の公民館についても同じ)。	B	B	C	C
81	津田体育館	生涯学習課	B		地域に類似施設がなく必要性は高い。 利用料金を見直した上で、利用促進すべき。	B	B	B	C

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
82	長尾公民館(農業者トレーニングセンター)	生涯学習課	B	現状維持	同規模の施設が近づくに必要性は高いが、老朽化に伴い修繕費が高む。 隣接する保健センターや児童館と併せて統廃合を検討するとともに、人員配置等の面で効率性を高める余地がある。	A	B	C	B
83	志度総合運動公園	生涯学習課	B	一部廃止	野球場は公式戦の規格を満たしており必要性は高い。しかし、テニスコートは他地区にもある。 必要性の低い施設は廃止を検討していく必要がある。	B	B	C	B
84	長尾総合公園	生涯学習課	B	一部廃止	全体として利用者は多いが、利用料金を見直す余地がある。また、他地区に類似施設があるものについては廃止も検討すべきである。	B	B	C	B
85	長尾総合公園コテージ	生涯学習課	B	利用促進又は指定管理者導入	必ずしも市が運営しなければならない施設ではない。 今後より市が主体となって一層PRをしていくか、または指定管理者を導入するか検討する必要がある。	C	C	A	A
86	B&G海洋センター体育館	生涯学習課	B	現状維持	地域の体育館として、また、小中学生のクラブ活動の場として広く利用されている。寒川地区では最も規模が大きい。 利用料の見直しが必要。	B	B	B	C
87	志度武道館	生涯学習課	B	現状維持	志度中学校の活動でも利用されているが、一般の利用者も比較的多い。 利用料の見直しが必要。	B	B	B	C
88	飛翔の館	生涯学習課	B	現状維持	社会体育施設として一般の利用者も多い。 利用料金を見直す必要がある。	B	B	B	C
89	B&G海洋センター水泳プール	生涯学習課	B	現状維持	市民プールとして利用されている。 今後とも利用促進が必要。	B	B	B	B
90	南川自然の家	生涯学習課	B	現状維持	市内外の利用者に広く利用されているが、老朽化による修繕費が増加してくると思われる。利用料と併せて管理経費の抑制を考えていく必要がある。 より一層のPRを行い利用促進していかなければならないが、将来に渡って財源を投入し継続していくかどうかは検討の余地がある。	B	B	C	B

資料3 施設の評価結果一覧表

	施設名	所管課	総合評価	今後の方向性	評価理由等	必要性	有効性	効率性	公平性
91	寒川図書館	生涯学習課	B	現状維持	利用者も多く市の図書館としての役割を果たしている。 ただ、2館に分かれていることから効率が悪い面があり、今後両館の連携を一層強め、一体的な管理運営を行っていく必要がある。 また、寒川図書館については、館の一部が歴史資料の展示スペースとなっており、今後図書館の役割を明確化していく中で見直す余地がある。	B	B	C	B
92	志度図書館(青少年交流プラザ)	生涯学習課	B			B	B	B	B
93	文化資料展示館(21世紀館さんがわ)	生涯学習課	B	現状維持	市民文化活動の発表の場として、また、芸術文化と触れ合う場として、利用者も多い。 利用料金を見直す余地がある。	B	B	B	C
94	重要文化財旧恵利家住宅	生涯学習課	B	施設のあり方について抜本的に検討	国の重要文化財であるが市民の認知度はあまり高いとはいえず、有効に活用されていない。 PRを行うとともに、みろく自然公園と一体的に指定管理者を導入するなど、市民が利用しやすい管理形態を検討すべき。	B	C	C	B